

# 図書館だより

## 目次

■ 総合図書館長に就任して.....	1
■ コレクション展2004を終えて.....	2
■ 学生選書モニター実施.....	4
■ 貸出・返却Q&A (図書館の使い方シリーズ No.11).....	6
■ INFORMATION .....	8

## 総合図書館長に就任して

新総合図書館長 工学部教授 谷口 興紀



この4月、図書館長に就任いたしました。学生時代から図書館にはお世話になって来ています。そのなかでも図書館のサービスのひとつであり、現在大いに利用している相互利用制度のことを思うと、今昔の感があります。昔は、身分が学生だと、自分の所属する学科においても、おまえたちの利用はあまり考えないという風でした。助手になると、さすがにそういうことはなくなりましたが、他学部の図書を利用しようとする、教室主任の印鑑をもらわなければなりませんでした。(30年ほど前の話)。その後、相互利用制度が全国的に組織され、図書館を通じて、他大学の文献複写依頼や貸出まで出来るようになったことは夢のようでもあります。現在では、

インターネットに支えられて、日本だけでなく、世界の図書館が利用出来るようになっていきます。

ロンドン大学(パートレット校)に留学(1986年)したとき、図書室の入り口ドアに、「この図書室には泥棒がいます。注意してください。」という紙が堂々と貼られていて、びっくりするやら、これが英国人の物事の対処の仕方かと、日本の場合との差異を覚えたものです。エジンバラ大学に留学(1997年)したときは、中央図書館の、昔の銀行のような構えのカウンターで、図書を返却に来た人がお金を払っています。返却期日を過ぎると日割りで延滞料金を支払うシステムであり、こういうやり方は日本でもできるのだろうかと思案しました。また、人工知能の学科の図書室で、所蔵しているはずのこの本がないのだからという、貸出リストをチェックして、借りている人に督促をして私に貸してくれて感心しました。

図書館は、学則第47条で、産業研究所と共に「置く」となっており、現在の建物は、昭和56(1981)年に、学園創立50周年記念事業として建設されています。「置く」というのは、漢和辞典的には、「とどめる」が原義ですが、図書館をとどめるとは、何をどこに留めることでしょうか。

スクールバスを下りて中央キャンパスに向かうと、高圧線の鉄塔の下をくぐります。鉄塔を見上げると4本の柱よりなり、個々の柱は、短い部材が何カ所かでボルトで留められています。1カ所に数十本のボルトが使われており、全体では数千個になるでしょう。いかにキャンパスを睥睨(へいげい)する鉄塔といえども、あまり目立たないこれらのボルトなしには、屹立(きつりつ)することはできません。かといって、ボルト一本を抜き去っても、直ちに鉄塔が倒れることはありません。このことを見て取って、ボルトは必要ないと短絡することは正しいでしょうか。

生物の絶滅種ということが話題になります。この地球上には、沢山の種類の生物が現存します。それらのある種のもものが、地球上の生物種から抜け去るという事態が生じつつあります。それらの種が抜け去るとどうなるのでしょうか。一つには、直接に我々の生活に影響がないから気にしないという立場があります。他方では、我々が生生活動をしている中で、「抜け去る」ことが自然に生じることが大問題であるとする立場があります。(「自然に」ではなく、我々の生生活動の結果なのですが。)前者は、我々の生活事情からの現実的立場です。後者は、未来を含んだ歴史的立場です。一つの種が抜け去るということは、そのことが積み重なり、全部の種が抜け去る道(崩壊ルート)を歩んでいると見る立場です。全生物種の中で人類種の順位は何番目でしょうか。

図書の役割は、一冊一冊が、読む人それぞれを知の体系に留めるものです。図書館サービスは、そのことをサポートすることだと理解します。一冊を抜いても知の体系は、今すぐには倒れないでしょう。しかし、それは崩壊ルートに乗ることです。収書を含めた図書館サービスをおろそかにすることは、本学全体を一挙に崩れ去らせることに通じる行為です。図書館サービスは、堅固ボルトの役割であり、その充実が大学を高くそびえさせるために必須となります。

館長就任にあたり、このようなことを心に留めると共に、学園の皆様方のご理解とご協力をお願いする次第です。

## コレクション展2004を終えて

去る2004年5月7日(金)～11日(火)総合図書館3階、第2閲覧室において、「コレクション展2004」を開催しました。毎年、この展示会を通じて、本学総合図書館所蔵の貴重な学術資料などを広く一般にも公開しています。

本年は、「特別展:F.W.テイラーと科学的管理の時代」をテーマに、経営学史を彩った重要な著書を中心に展示しました。期間中、学外からも多くの来館者がありました。

### 「コレクション展2004」の展示物より



ロバート・オーウェン

「国民衡平労働交換施設(パーミンガム)の労働紙幣」  
1833

オーウェンは、生産物価値を労働時間に換算し労働券で決済する一種の協同組織「国民衡平労働交換所」を設立した。本券はその労働5時間分の労働紙幣である。

福澤 諭吉

「學問ノススメ」初篇-14篇(欠4篇)  
1872-1875

「天は人の上に人を造らず天は人の下に人を造らずといえり」の書き出しであまりに有名である。緒方洪庵の適塾に入り蘭学を学ぶ。1858年江戸に出て築地の中津藩邸内に塾を開く。これが後の慶応義塾のもととなる。



井上探景画 松本平吉板

「東京上野高崎街真景」  
1884

井上安治、元治元年-明治22年(1864-1889)小林清親の門下。号、探景。はじめ芳年に学んだが、資質に合わず、明治11年、15歳のとき、清親に出会って入門する。



### 見学アンケートより

- 普段見られない貴重な文献を、直接手にとって見られたのでよかった。
- 有名な著作の原本を実際に見られて感激した。
- 経済学について詳しいと思った。今後の授業で活かしたい。
- 錦絵や浮世絵等、絵が見ていて楽しかった。
- 展示されている文献によって、どのような研究がなされているのかがわかると良い。
- 開催している事をもっとアピールすべき。

## 総合図書館コレクション紹介

### ビジネスライブラリー (Collection of rare books on Business)

経営学発達の基本文献のみならず、会計学・マーケティング論の名著・古典を約1,000点収集しています。コレクション展2004では、ビジネスライブラリー・コレクションから特に、「科学的管理」をテーマにした名著の数々をごらんいただきました。

#### アンリ・ファヨール著『産業ならびに一般の管理』1917年版について

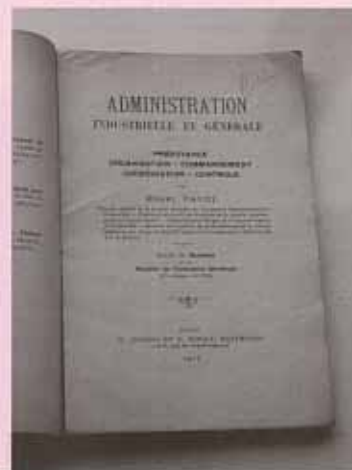
Fayol, Henri, 1841-1925, "Administration industrielle et générale", 1917

本学図書館の中にF.W.テイラー著『科学的管理法』1911とともに経営学の最も重要な古典であるアンリ・ファヨール著『産業ならびに一般の管理』1917年版を所蔵している。すでに図書館には同書の1920年版、1941年版及び『公共心の覚醒』1927年版を所蔵していたが、この『産業ならびに一般の管理』1917年版が特別な図書であるという所似は国内屈指のファヨール研究で有名な佐々木恒男氏がこの図書の発行年をフランスに留学して初めて特定できたからである。

なぜ、今まで発行年が特定できなかったかという一般に知られている国内外図書館所蔵の発行年は1925年となっており、経営学の各種文献にもそのように記載されているものが多い。言い換えれば1920年版はもとより1917年版については国内だけでなく海外でも所蔵が確認されていない図書だからである。

佐々木恒男著『アンリ・ファヨール』文真堂1984年発行によればファヨールの主著『産業ならびに一般の管理』は、1916年に鉱業協会の機関紙に掲載され、1917年に出版社デュノから出版されたと記載されている。佐々木氏が留学中のフランス国立図書館所蔵の図書で初めて『産業ならびに一般の管理』1920年版の出版年を確認し、さらに1917年版はファヨールの遺族から同書を直接見せてもらって、ようやく出版年を同定できたとなっている。

総合図書館事務室：野村



# 学生選書モニター実施

今年も、学生の視点で本を選ぶ「学生選書モニター」を6月5日(土)、紀伊國屋書店梅田本店にて実施しました。モニターには、応募のあった大学院生、各学部生、留学生の中から1回生5名、2回生2名、3回生2名、4回生5名の計14名にご協力をお願いしました。



## 選書モニターって何？

学生の皆さんが興味をもっている本を、実際に、書店で自由に選んでもらい購入。購入された本は、図書館の蔵書として書架に並びます。

当日、選書方針等の留意点の説明を受けた後、やや緊張した面持ちで選書を開始。選書開始直後は戸惑い気味だったモニターの皆さんでしたが、あらかじめ内容やジャンルを決めていた人が多く、メモを片手に広い店内を効率よく移動。約2時間後には少々疲れ気味ではありましたが、満足気なモニターの皆さんと共に選書された「本の山」ができていました。



## アンケート結果

### 〈選書した分野〉

都市計画・建築資料・都市デザイン・グラフィックデザイン・造園・デザイン・経済学・社会学・自動車工学・機械工学・流通・数学・民俗学・コンピューター・文学・福祉・思想 など

### 〈選書理由〉

- 学部の専門図書として
- 興味があるから
- 話題の本だから

### 〈感想〉

- とにかく楽しかったので参加してよかった。
- 価格を気にすることなく、本を選べた。
- あれだけたくさん本が図書館に入るかと思うと嬉しい。
- 大きな書店をじっくり見る機会が今までなかったのでいろんな発見ができた。
- 実際に手に取って内容が見られるので、取っ付き易い本を選ぶ事が出来た。
- 友人の意見も取り入れて選書した。必要とする本が増えるので嬉しい。



**選書された冊数：約700冊（1人平均 約50冊）**

選書モニターの皆さんの意見を今後活かし、学生の皆さんが必要とする資料がいつでも求められ、かつ親しみやすく利用しやすい図書館をつくっていきたいと思います。

### 次回「選書モニター」のお知らせ

今回参加の皆さんには好評だった「選書モニター」もポスター、ホームページでの告知にもかかわらず、学生の皆さんの認知度は残念ながら低いものとなっています。

次回、「選書モニター」は11月6日（土）に実施予定です。今回、初めて「選書モニター」の存在を知った方、今回参加のモニターの皆さんから感想を聞き興味を持った方、又、学生生活の証しとして何か残したいと考えている方、在学中はもちろん卒業後に図書館を利用したとき、自ら選書した本が目の前に…なんて素敵なことではないでしょうか。

**次回、モニターの募集は10月を予定しています。  
皆さんの参加をお待ちしています。**

## 貸出・返却 Q &amp; A

## 貸出

● 借りたい図書  
● 学生証(職員証)  
を持って2階メインカウンターへ

職員に図書を渡し、  
カードリーダーに  
学生証(職員証)を通す。



タイトル・内容が同じ図書を2冊借りたい。



同タイトル・同内容の図書の貸出は、一人でも多くの方に利用して頂けるよう、一人につき1冊のみとなっています。



自分が借りている図書を他人に貸したい。



**他人に貸してはいけません!** 自分が借りた図書を友人に貸して紛失され、トラブルになるケースが多数起きています。  
もし、このような場合に弁償するのは、「友人」ではなく、図書を借りた本人になります。いくら信用できる友人であっても、自分名義で借りた図書を貸すのはやめましょう。



借りたい図書が貸出中だったのですが、どうしても読みたい。



予約することができます。予約をすると、貸出中の図書の返却時に優先的に貸出  
手続ができます。(但し、試験期間等、予約できない期間があります。図書館内掲示  
板等で事前に告知します) 詳しくは2階カウンターに申し出て下さい。



「禁帯出」と書かれた赤丸印のシールは、何の意味ですか?



「禁帯出」シールは、原則「館外貸出できない資料」、  
という意味です。



## 返 却

開館時

2階のメインカウンター  
へ図書を持って行く。

閉館時

図書館前の返却ポストに  
図書を入れる。

注：返却日は、翌開館日となります。  
返却期限日ぎりぎりのときは、  
注意しましょう。

**Q** 実は、もう少しの間借り続けたかったんだけど…

**A** 貸出期間を延長（継続貸出）することができます。貸出期間内に図書と学生証（職員証）を2階メインカウンターまで持って来て下さい。**必ず返却する前に職員に申し出て下さい!**（返却後は継続貸出できません!）。

但し、返却期限日を過ぎていたり、罰則期間中であつたり、または、他の利用者が予約している時、あるいは前期・後期試験期間中は、延長することができません。継続貸出は1回のみですので、ご注意ください。


**Q** 返却期限日を過ぎてしまいました…

**A** 返却期限日を過ぎた場合は、延滞した日数に応じて、図書が借りられない期間が発生します。返却期限日を過ぎても、**借りた図書は必ず返しましょう。**

**Q** 図書についていたCDだけ持ってくるのを忘れた。


**A** 付属のCD-ROMやフロッピーディスク等は、必ず一緒に返して下さい。付属のものも含めて、全てそろそろまでは返却したことになりません。

**図書館よりお願い**




**NO!**


- 全館禁煙です。
- 席をはなれる時は、貴重品は必ずお持ち下さい。
- 飲食はしないで下さい。
- 携帯電話の使用禁止。



**NO!**



**NO!**



**NO!**

### 試験期間中の利用について

試験期間：7月21日(水)～8月3日(火)  
 窓口業務：9:10～21:40  
 なお7月14日(水)～8月3日(火)は、予約、貸出延長は出来ません。

### 夏休み中の特別貸出について

特別貸出対象者：大学生、短大生、研究生、  
 科目等履修生、卒業生

受付期間	7月21日(水)～9月13日(月)
貸出冊数	7冊以内
返却期限	9月27日(月)

### 総合図書館の市民開放について

今年も夏休み中の図書館を広く市民の皆様へ開放する予定です。

大東市・東大阪市・四條畷市に在住、または通勤・通学されている高校生以上の方は、館内資料の閲覧及び自由学習ができます。

**開放期間：8月4日(水)～9月14日(火)**

開館日程はカレンダー(右記)の通りです。

### 秋の学生選書モニターのご案内

総合図書館では11月6日(土)に学生選書モニターを実施します。学生の視点から、図書館で購入する本を選んでみませんか。

日 時	平成16年11月6日(土)
申 込	10月(ポスター、ホームページで告知予定) 2Fカウンターにて受付

### 夏季の開館日程について

ご来館の際は下記カレンダーを参考にして下さい。

7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

### 開館時間

通常：9:00～21:40 赤：休館日

短縮：9:30～17:00

### 編集後記

今年4月より総合図書館に新館長が就任し、また、今年度の編集委員も決まり、心機一転、意気揚々と編集・発行しました今号の図書館だより。

今回の試みとして、総合図書館のホームページに、この図書館だよりが掲載されます。是非みて下さい。総合図書館は、利用者に「より身近に」そして「よりわかりやすく」を目指していますので、ご意見頂ければ、できるだけ今後に反映していきたいと思っております。

ご多忙中にもかかわらず、執筆・編集にご協力頂いた方々に、厚く御礼申し上げます。

### 図書館だより No.14

発行日 平成16年7月7日

編集・発行 大阪産業大学総合図書館

大阪府大東市中垣内3丁目1-1

Tel.072(875)3001(代表)

Fax.072(873)1664(直通)



この印刷物は、環境保護のため、エコマーク認定の再生紙を使用しています。